

総合計画推進のための意見交換会を受けた要点整理

市では総合計画推進のため、平成21年度から市民参加型の評価・改善の仕組みを検討しています。このたび、その検討を進めるために計画策定時の委員代表の方々と意見交換会を開催しました。この意見交換会では、市の原案に対して、意見や市の考え方の確認がありましたので、その内容について次のように要点整理を行いました。

区分	市事務局の検討状況
(1)組織のあり方	①市民協働会議の役割について <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定時に組織した市民協働会議を計画推進時でも組織したい。 ・市の内部組織は、策定会議から推進会議に移行したい。 ・市民協働会議の役割は、市と協働で計画の進み具合を評価し、取組の改善策を検討・調整して、市長に提案することを想定している。
	②市民協働会議の事務局について <ul style="list-style-type: none"> ・当面は市に事務局を置きながら、市民協働会議を進めていく中で、事務局のあり方も協働で考えていきたい。
	③市民協働会議の体制について <ul style="list-style-type: none"> ・委員数は50人以内を想定している。 ・会議は分野別の分科会形式を想定している。 ・関係する部長が協働パートナーとして全員参加することになると考えている。
	④委員の構成について <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、策定時と同様の考え方で委員の呼びかけを行っていききたい。 ・市民協働会議を進めていく中で、委員が徐々に交代していくことも含めて、どのような形が市民の活動を高めることになるのか検討していきたい。
	⑤委員の公募について <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には策定時と同様、市関係団体などの団体推薦のほかに、公益的活動を行う団体からの推薦も公募の形で呼びかけたい。 ・市民の個々の意見については、策定時と同様、パブリックコメントを行いたい。
	⑥委員の選任について <ul style="list-style-type: none"> ・団体推薦以外の識見委員は、策定の経緯を熟知している人など一定の基準で選任したい。
	⑦委員の報酬・謝礼について <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働会議は、いろいろな分野で活躍されている市民の方々と一緒にまちづくりを行っていききたいという趣旨から、策定時と同様、作業型会議を想定しているため、委員報酬等は予定しておらず、交通費の費用弁償という形でお願いしたい。
	⑧委員の任期について <ul style="list-style-type: none"> ・委員の任期は1年以内で、再任を妨げないこととしたい。

区分	市事務局の検討状況
(1)組織のあり方	<p>⑨委員募集時の想定作業量等の提示について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議は10回程度の開催を想定している。 ・委員募集の際、あらかじめスケジュールや作業量、開催時間帯などを提示したい。
(2)評価のあり方	<p>①目標指標の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢に左右される指標もあるため、必要に応じて目標値の軌道修正もあり得る。 ・新たにマッチする指標があれば、追加も検討したい。 ・目標指標の見直しが必要な場合は、5年後の基本計画見直しの中で反映させたい。 <p>②各主体の評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の実行段階においても市と市民が協働してまちづくりを行っていききたい。 ・指標の推移をもとにまちづくりの評価を行い、役割分担のどの部分が不足しているのか、どこに力を入れていくべきなのか、改善策を協働で検討していききたい。 <p>③市に対する評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善策を協働で検討していく中で、市の不足している部分、力を入れていくべき部分についても市民協働会議から提案していただき、可能な限り反映していききたい。 <p>④評価と予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働会議で提案されたものについては、可能な限り予算等に反映していききたい。 <p>⑤評価と提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこまでも専門性を求めて評価を掘り下げていくのではなく、指標をもとに市民の目線で評価を行っていただいた上で、どうしたら改善できるのかを提案していただくことを基本に考えている。 ・指標をもとに、ある程度機械的に評価ができるが、実態とのかい離がないか、市民の目線で確認が必要と考えている。 ・評価は、わかりやすさが一番のポイントと考えている。
(3)スケジュール	<p>①会議スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催は7月から11月までの期間を想定している。 <p>②指標の実績値と市民意識調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標は直近の実績値や市民意識調査の結果も反映できるようにしたい。
(4)情報発信	<p>①市民や議会への周知について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報紙で市民周知を図っていく。 ・議会への周知については、基本的に議会審議の中で行われることになるが、さらに周知が必要な場合は、市民協働会議を進めながら検討していききたい。 <p>②ホームページの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働会議に関しては、策定時と同様にホームページでも周知を図っていく。